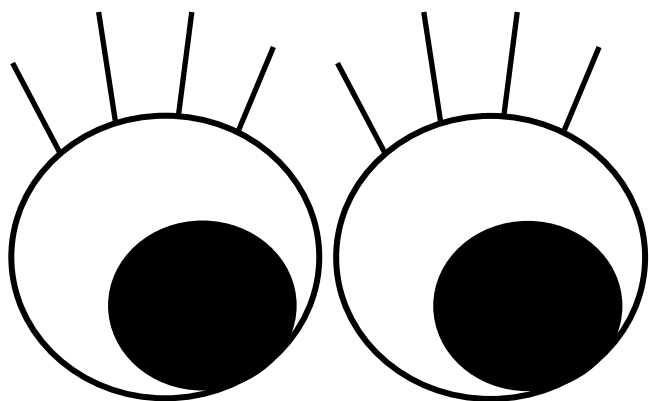




公益財団法人

仙台ひと・まち交流財団

仙台市榴ヶ岡市民センター 主催



日本の工業デザイン
発祥の地が
宮城野区にあった！
本当なの？

「工業デザイン発祥の地 を のぞいてみよう」 全3回

1928年（昭和3年）日本で初めての国立の工芸指導所が仙台に誕生しました。日本の伝統工芸の近代化をはかり輸出を振興すること、また東北の産業の開発を目的に商工省（現・経済産業省）の機関として設置されました。「見る工芸から使う工芸へ」当時の工芸指導所をのぞいてみましょう。さて、その昔工芸指導所があった場所はどこ？

第1回

11月12日（土）
10:00~12:00

講話・跡地見学

「国立工芸指導所ってどんなところ？」

講師：近代仙台研究会 会長
東北工業大学名誉教授
庄子 晃子 さん

第2回

11月26日（土）
10:00~11:30

講話「玉虫塗って？」

講師：有限会社東北工芸製作所
常務取締役
佐浦 みどり さん

第3回

12月3日（土）
10:00~11:30

講話「国立工芸指導所で
作られたものは？」

講師：宮城大学
特任助教授 小松 大知 さん

対象：どなたでも15名（先着順）
費用：無料 会場：榴ヶ岡市民センター
申込み：10月5日（水）10:00~
電話または窓口まで

【申込み・問合せ】
榴ヶ岡市民センター

電話 022-299-5666
〒983-0842 仙台市宮城野区五輪1-3-1